

日本共産党 衆議院議員

とおる

# 宮本 徹



国会通信

2018年5月  
宮本徹事務所  
東村山青葉町2-29-2  
TEL:042(391)4139  
FAX:042(395)7069

## 加計学園疑惑で安倍首相を追及しました



加計学園問題をめぐり、2015年4月2日の首相官邸および内閣府での愛媛県の面談記録が明らかになりました。加計学園側の台詞として、安倍首相と加計学園理事長が獣医学部新設について話し合っている内容が記載されています。これまで、安倍首相は、「加計さんから獣医学部新設について相談を受けたことはない」と答弁されていますが、真っ赤な嘘、国家戦略特区に手をあげる前から相談していたということになります。

その点を追及すると、総理は、「加計さんから相談を受けたことがない」と繰り返すだけ。そうすると、加計学園側が、首相官邸で、作り話をしたということなのでしょう。真相解明には、加計学園理事長の証人喚問が必要です。

## 麻生「はめられた可能性も」発言を撤回させる



5/11 日本テレビ



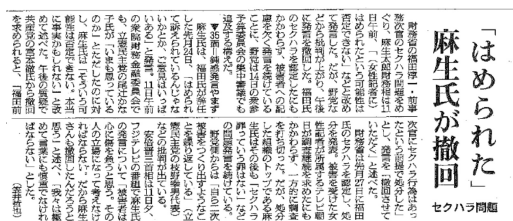
5/11 NEWS 23



5/11 テレビ朝日

財務省の福田前事務次官のセクハラをめぐり、麻生大臣の暴言がとまりません。5月11日も国会で、福田氏が「はめられた可能性もある」と被害女性を加害者である可能性もあるとする暴言を行いました。

私がセクハラ行為を認定している財務省の立場とも異なると追及するなか、麻生大臣は発言を撤回しました。私は、麻生大臣こそセクハラ防止の研修を受けるべきで、被害女性に謝罪すべきだと迫りました。



5/12付 朝日新聞一面



5/12付 東京新聞一面

# バリアフリー・安全対策の強化を

今国会にバリアフリー法の改正案が提出されています。国土交通委員会で、駅ホームの安全対策や多機能トイレの増設などを求めました。

一昨年、青山一丁目での転落事故をうけ、国は転落防止策をまとめましたが、昨年も視覚障害者が駅ホームから転落して亡くなるという痛ましい事故が3件おきました。視覚障害者のホームからの転落自体はもっとたくさんおきており、東京20区内で見ても、ここ数年で東村山駅、秋津駅、新秋津駅、ひばりヶ丘駅で視覚障害者がホームから転落しています（国交省資料）。

国の転落防止策では不十分です。国のホームドア設置の目標は乗降客数10万人以上の駅となっ



4/17 国土交通委員会

ています。ホームドア設置目標の拡大、安全要員の確保を求めました。そのために、赤字の高速道路建設より、バリアフリー化、安全対策に予算配分を優先すること、財投の活用を提案しました。

また、障害者のみなさんから聞いている声を紹介しながら、多機能トイレの増設や視覚障害者が困らないように流し方を統一すること、生活道路の歩道のバリアフリー化などを求めました。

## 横田基地でのパラシュート降下訓練は禁止せよ

4月10日、横田基地から700メートル離れた羽村第三中学のテニスコートに米軍のパラシュートが落下しました。ひとつ違えば、人命にかかわる重大事故です。横田基地周辺5市1町どこでもおこりかねない問題です。

4月11日、国土交通委員会で、大臣等のレベルで厳しく抗議し、米側の訓練を中止させることを求めました。しかし、政府は役人レベルでの抗議にとどめ、「さきほど米側から事故原因が確認されるまで訓練を中止するとの連絡を受けた」と述べるだけ。しかも、その数時間後、米軍は翌日から訓練を再開すると発表し、実際、12日から訓練を再開しました。

翌13日、外務委員会で事故原因について政府に説明を求めましたが、事故原因とよべる説明はなく、「米側にさらに報告を求める」という答弁でした。

さらに、米側は4月19、20日に、こんどは無通告でパラシュート降下訓練を強行しました。事前に知らせるようという日本政府の要請も無視した形です。週明けの23日、防衛省担当者に対し、はじめの事故に対して、大臣レベルでの抗議をおこなわなかったことが、米側の傍若無人ぶりにつながっていると指摘し、住民の安全を守る立場にたつことを重ねて求めました。



住民、地方議員のみなさんと防衛省・外務省へ抗議